

沙流川大学第2回講座「研修旅行」

6月29日、岩見沢市において第2回講座「研修旅行」を24名の参加により開催し、教養の向上と参加者間の交流を図ることができました。

地元の食材を楽しむことができるレストラン「大地のテラス」でのランチバイキングの後、あやめ公園を訪れた際はショウブの蕾が開く前の「華のない観賞」となりましたが、次に訪れたバラ園では色彩豊かに咲き誇る大小様々なバラの花々の競演に参加者は各々に優雅なひと時を満喫しました。最後に訪れた岩見沢郷土科学館の明治・大正・昭和の生活用具等を見学した際には、子どもの頃の思い出を懐かしそうに語り合う場面もみられ、参加者一同、充実した一日を過ごしました。



放課後子どもサポートプログラム「まっく（全地区）」水泳教室

7月3日～6日の4日間、「まっく」スポーツ教室の1種目として『水泳教室』が開催され、むかわ町の四季の館を会場に延べ105名が元気いっぱいに参加しました。クラスごとに水に慣れる、息を止めて潜る、バタ足を覚えるなどの指導がなされ、最初は水を吸って苦戦していた参加者も4日間で見ると上達し笑顔で泳ぐ様子が見られました。



放課後子どもサポートプログラム「まっく」ダンボールパズル

7月14日、まっく（門別）「ダンボールパズル」が門別公民館で開催され、30名の参加者が集まりました。

ダンボールに好きな絵を描いたあとバラバラに切ってパズルを作る教室で、使う材料や内容はとてもシンプルなものでしたが、参加者にはとても好評な様子で、自分のパズルだけではなく友達同士で交換しあってパズルを楽しんでいた姿が印象的でした。



放課後子どもサポートプログラム「まっく（富川）」科学実験

7月19日～21日の3日間、まっく（富川）「科学実験」が新光町生活館で開催され、1年生～3年生まで合わせて73名の参加者が集まりました。

当日は「空気の動きを探ろう」をテーマにダンボールで作成した空気砲からさまざまな方法で空気を飛ばし、参加者は空気の動きの観察や空気砲を使ってものを飛ばすなどの実験をとおして楽しく体験していました。



門別ことぶき学園第3回本科「見学旅行（果物狩り）」

7月20日、学園生61名が参加し壮瞥町の岩倉観光果樹園で果物狩りを行いました。

参加者は、赤く実ったみずみずしいさくらんぼを堪能しました。その後、洞爺湖温泉に移動し昼食を楽しみ、帰りには、真狩村でおいしい水を汲み、道の駅などで買い物を楽しむなど、充実した1日を過ごしました。



ひだかKidsクラブ『ルアーフィッシング教室』

7月25日、8月4日の2日間、ひだかKidsクラブ『ルアーフィッシング教室』を開催し、延べ12名の子どもたちが参加しました。

初日は事前研修として魚や用具の知識、ルアーの投げ方などを学習し、初めは上手く投げる事が出来なかった参加者も回数を重ねるごとにどんどん上達し、最後には上手に遠投する参加者もいました。

迎えた本番当日、地元を流れる沙流川とチロロ川での本格的なルアーフィッシングを体験し、結果的には1匹も釣れませんでした。『魚がルアーを追ってきた』、『針に掛かったのに逃げられた』など、魚の気配を感じた参加者もあり、終了時刻まで黙々と竿を振り続けている姿が見られるなど、思い出に残る夏休みの一日となりました。

